令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 大一会

社会福祉法人大一会　令和4年度事業報告書　目次

1.　令和4年度総括・重点目標評価及び活動結果……2～4
2.　理事会・評議員会の活動報告・役員の新任・退任……5～6
3.　防災関係……6
4.　組織体制及スタッフ状況……6～7
5.　会議及び委員会……7～9
6.　研修（外部研修・内部研修）……10～13
7.　各課の行事報告・実績報告等
　（1）本部事務局……14

　（2）知的施設課
　　【障がい者支援施設大口園】……15～16
　　【生活支援センターふれあい】……17
　　【キッズステーションみらe】……18

　（3）就労支援課
　　【ワークセンターあかり】……19～21

　（4）身体施設課
　　【障がい者支援施設星空の里】……22～23
　　【相談支援センター星空の里】……24
　　【グループホーム　時遊】……25

　（5）高齢者福祉課
　　【グループホーム鈴蘭】……26
　　【訪問介護・介護予防・居宅介護・重度訪問介護】……27
　　【指定居宅介護支援・地域包括支援サブセンター】……27
　　【小規模多機能ホームよりあい処いろり】……28
　　【高齢者福祉課（総括）行事報告】……29

8.　利用実績グラフ（在宅福祉関係）……30
　　【指定居宅・訪問介護・星空の里】……31
　　【大口園・あかり・大口園SS】……32
　　【星空SS・共生型・いろり】……33
　　【みらe】……34

9.　相談・苦情の状況報告……34

1．令和4年度　総括

令和4年度も、新型コロナウイルスの感染は収まらず、ご利用者、スタッフに各方面において制限や感染対策を講じ続け疲弊していく状況も見られました。法人内においては定期の感染対策委員会で情報共有し感染対策を徹底し、感染の拡がりは見られませんでした。年度末には感染も減少傾向となり、世間でも感染分類が令和5年5月から2類から5類に変更され、ウィズコロナが本格的になり、従来の日常生活に戻ろうとしています。法人においても、これまでの知識と経験により、感染の予防対策と、有事の蔓延防止について的確に対応できるようになり、ご利用者の方が安心して外出、外泊が可能となり制限の緩和や、職員においても県外への外出、受入等の申請手続き等の規制や制限を緩和するなどしました。しかしながらコロナウイルスをはじめとする感染症は無くなった訳ではなく、今後も発生するリスクは充分に考えられるため、気を緩めず、基本的な感染対策（マスク着用、消毒、換気）を継続的に講じて利用者・職員の暮らしの安全に努めて参ります。

法人の経営においては、ウクライナ情勢や原材料価格の高騰により、電気などの光熱費、食材費などの値上がりにより経営に大きな影響を及ぼしましたが、今年度は県や伊佐市より助成を頂き対応することができました。今後は不透明な状況は続いていることから、対応策を検討していきたいと思います。

星空の里においては、令和3年に実施したかけ崩れ修復工事から排水路の改修工事が令和5年5月に完了し、大雨等の災害対策が施されました。工事に当たっては、ご尽力いただきました県関係各位ならびに工事関係者の皆様にはこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

人材確保について、リクナビ2023を活用し、学生からのアクセスはありましたが、WEB 説明会、施設見学の希望までは至りませんでした。高校、大学への求人情報の提出や情報収集が出遅れたこともあり、最終的には1名の採用に留まりました。また年度中の退職者の補充として、中途採用の進めておりましたが、第2四半期から第3四半期にかけては動きが鈍く、人員不足の状況が続きました。今後も見据え外国人技能実習生の採用を検討していましたが、令和5年に入り、6名の採用を決定しました。令和5年 10 月から勤務する予定となっています。
人材不足は、今後の課題でもあり令和4年度の反省を基に学校への求人情報の提示を迅速にすることや学校訪問の実施、中途採用においては、短時間勤務など状況に応じた採用も視野に入れ、人材確保を図ります。

人材育成については、外部研修においては、オンデマンド配信やオンライン研修に積極的に参加してきましたが、徐々に対面の研修も増え感染対策を行い、参加できるようになりました。
内部研修については、新任職員研修はオンラインにより研修を実施しましたが、プリセプター養成講座など定期的に実施している研修は、感染対策もあり今年度は見合わせました。
各事業所においては、少人数での内部研修や外部講師を依頼しオンライン研修を実施するなど感染対策を講じながら、職員の資質向上に努めました。
令和5年度は外国人技能実習生も採用が決まっています。教育カリキュラムの整備とスタッフ自身の指導する立場としての学びの場になるものと考えております。

最後に、コロナウイルスやウクライナ情勢による物価高騰・人口減少に伴う人材不足など、社会における様々な課題と向き合いながら、利用者・職員の安心・安全を念頭に運営をして参りました、今後も予期せぬ災害やリスクに備え、法人のシンクタンクを活用しながら、福祉のみならず地域の産業等を含め、活動の更なる充実を図りながら運営をして参りたいと考えております。
また、これまで自粛していた行事や研修、地域貢献活動なども適時検討し、ご利用者、スタッフがいきいきと活動できる令和5年度になるようにしていきたいと考えております。

【令和4年度　重点目標評価及び活動結果】

1. 新規事業の展開と組織管理

重点目標	活動実績
□　がけ崩れに伴う排水工事（星空の里）	●　排水工事は5月に完了し、がけ崩れに伴う全工事が完了した。
□　スプリンクラーの修繕・受水槽の改修	●　スプリンクラーの配管工事および受水槽の改修は今年度完了した。
□　備品の管理と計画的な修繕	●　必要備品については、各事業所にて整備し、修繕は中期保全計画の策定に含め検討する事とした。
□　通所介護から地域密着型通所介護へ移行（県→市へ）	●　R4年度は移行できず R5年度に移行予定。
□　資格要件者の確保と整備	●　異動時に他の資格者を配置する事は出来たが、今後の資格要件者の確保までは至らなかった。
□　新規利用者及び加算取得による収支改善	●　歯科衛生士の配置に伴い、口腔ケアに関わる加算取得について準備を進め、来年度に取得予定。
□　経営会議と夕やけ会の統合（経営情報の共有）	●　新型コロナウイルスの対策もあり、今年度は実施出来なかった。

2. スタッフの働きやすさの向上

重点目標	活動実績
□　処遇改善加算の取得による待遇改善	●　障害サービスにおける臨時特例交付金と介護保険分野の処遇改善支援補助金を取得し、R4年2月から手当として支給開始した。（R4年10月からは加算報酬に変わり、ベースアップ手当に名称変更した）
□　ストレスチェックの実施	●　ストレスチェックを行うためにヘルスサポートセンター鹿児島と契約した。全職員のストレスチェックはR5年度に実施予定。
□　衛生委員会の開催、産業医の委託契約	●　産業医と委託契約を結び、衛生管理者を選任し体制が整った。衛生委員会は R5年から実施予定。
□　介護ロボットと ICT 化の推進	●　星空の里において、介護見守りセンサーの導入と大口園において介護リフトを導入した。

3. 研修による質の向上

重点目標	活動実績
□ 介護職員実務者研修の受託 （三幸福祉カレッジ）	● 三幸福祉カレッジと提携し、本部棟研修会議室を使用し、法人職員11名と外部者4名が受講した。
□ オンライン研修等の多様な研修機会の促進	● コロナ禍においてオンラインを活用し、積極的に研修に参加した。

4. 感染予防及び対策

重点目標	活動実績
□ 感染対策における BCP（事業継続計画）の見直し	● 時々刻々、変化している感染状況に対し、各事業所において感染対策マニュアルの見直しを実施。
□ 定期的な感染対策委員会の開催	● R5年3月末まで毎週月曜日に役職者によるオンラインの委員会を開催し、各事業所の状況報告と感染対策の確認、状況に応じた行動制限または緩和の必要性等について協議し、情報を共有した。
□ 安定的な備蓄品の確保	● 有事に備え、本部棟に各事業所2～3か月分の感染対策物品や、日用品を備蓄している。 ● 感染対策支援事業の補助金を活用し、各事業所において感染対策の備品を購入、配置した。

5. その他

重点目標	活動実績
□ 中期計画の策定（R4～R6）	● R4年度も作成できなかった。R5年度に持ち越し作成することとした。
□ 中期保全計画の策定	● R4年度は作成できなかった。R5年度に持ち越し作成することとした。
□ 有休買取制度の廃止、ゴールド免許ポイントの廃止	● 就業規則、給与規程、準職員給与規程を見直し、今年度から有休買取制度、ゴールド免許ポイントを廃止した。
□ 4等級の初任給算定額の見直し	● 保留とした。

2. 理事会・評議員会の活動報告

	開催年月日	出席者数	決議事項
理事会	【第1回　理事会】 R4/6/8	理事…9名 監事…2名 欠席…1名	報告 新型コロナウイルス感染状況の報告について 報告 星空の里排水路復旧・敷地雨水排水工事について 報告 固定資産物品の処分について 報告 理事長の職務執行状況報告について ・就業規則の一部改正について ・令和3年度事業報告(案)について ・令和3年度決算認定について ・令和3年度福祉充実残額について ・令和4年度定時評議員会の開催について ・令和4年度第 1 次収支補正予算(案)について
	【第2回　理事会】 R4/11/25	理事…9名 監事…2名 欠席…1名	報告 星空の里排水路復旧・敷地雨水排水工事について 報告 理事長の職務執行状況報告について 報告 令和4年度事業計画の中間報告について 報告 令和4年度実地指導・指導監査報告について 報告 固定資産物品の処分について ・社会福祉法人大一会 第三者委員の解任および選任について ・役員賠償責任保険の役員負担について ・令和4年度冬季賞与原資について ・令和4年度第2次収支補正予算(案)について
	【第3回　理事会】 R4/3/24	理事…8名 監事…2名 欠席…2名	報告 固定資産物品の処分について ・経理規程の一部改正について ・給与規程の一部改正について ・準職員給与規程の一部改正について ・評議員の解任および推薦について ・令和4年度第3次収支補正予算(案)について ・令和5年度事業計画(案)について ・令和5年度賞与原資(案)について ・令和5年度収支予算書(案)について

	開催年月日	出席者数	決議事項
評議員会	【定時評議員会】 R4/6/24	評議員…10 名 理事長…　1名 監事…　　2名 欠席…　　1名	報告 令和4年度事業計画について 報告 令和4年度第1次収支補正予算について ・令和3年度事業報告(案)について ・令和3年度決算認定について ・令和3年度福祉充実残額について

	開催年月日	出席者数	内容
その他	【監事監査】 R4/5/26	監事2名	本部棟研修会議室 令和3年度業務監査及び決算監査

◆令和4年度の役員等の新任･退任の状況

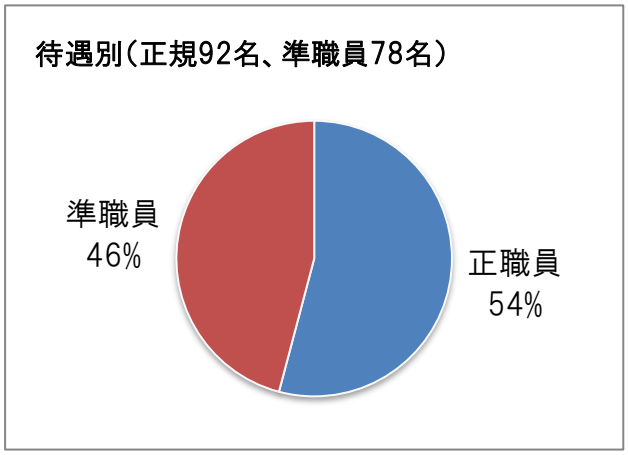
	新任	退任	定数	実員	欠員
理　事	なし	なし	10	10	0
評議員	なし	なし	11	11	0
監　事	なし	なし	2	2	0
評議員選任解任委員	なし	なし	3	3	0

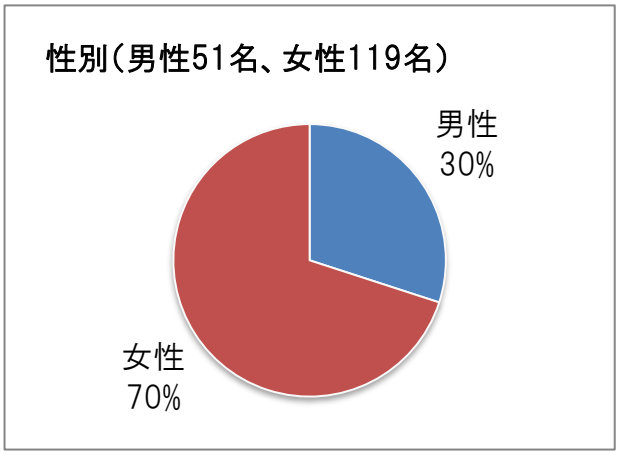
3. 防災関係

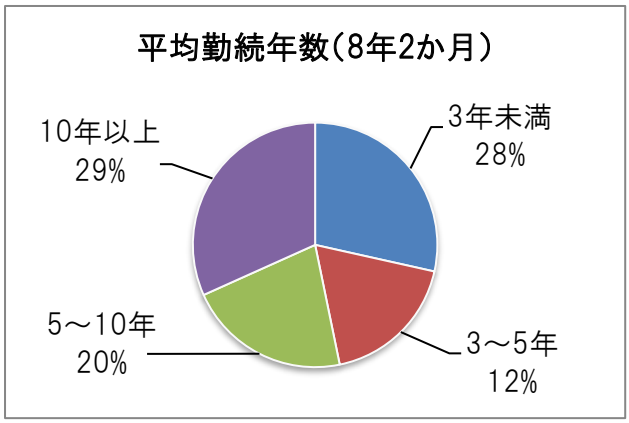
身体施設課が担当となり，防災計画に基づき，11 月に伊佐市長･消防本部･消防分団の協力参加の元，3 月に消防本部の協力参加の元，総合防災訓練（消火訓練･通報訓練･避難訓練）を実施することができた。訓練時に併せて，大一会設置の防火水槽を活用した放水訓練を行うこともできた。また，ご利用者が安心･安全にサービスを利用できるように，ご利用者･スタッフの『命を守る』ということを改めて考える機会になった1年であった。

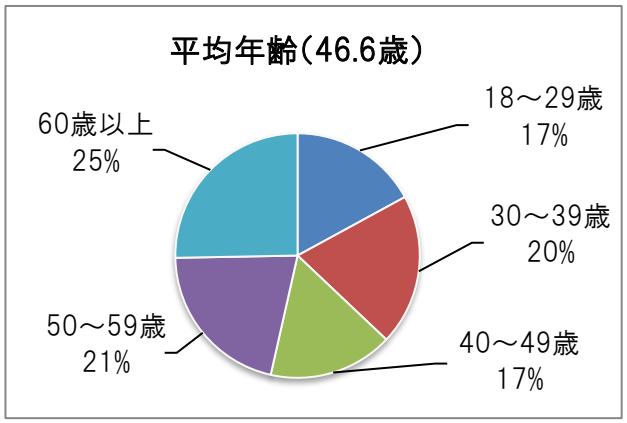
4. 組織体制及びスタッフ状況

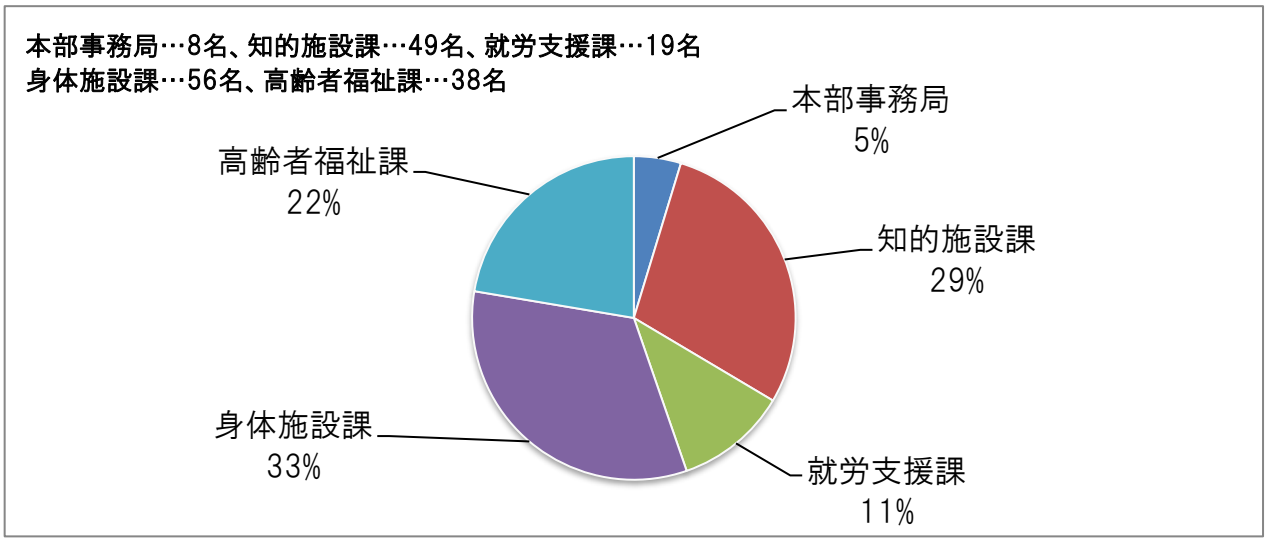
（1）組織体制…1局4課制（本部事務局･知的施設課･就労支援課･身体施設課･高齢者福祉課）
（2）役職者…理事長（大保潤一郎）、施設長2名（有馬、宮田）、課長2名（帖佐、山崎）、係長5名（谷口、古川、鬼塚友、鬼塚ゆ、柳田）
（3）スタッフの状況（令和5年3月末現在…_170_名）











(4)入退職の状況(※条件変更を含む)

	R4当初 (4 月採用含)	年度内 採用･異動	年度内 退職･異動	R4年度末 (3月末退職･異動含)	R5当初 (4月採用･異動含)
正職員	103(5)	7	18	92(4)	94(6)
準職員	36	6	3	39(2)	37
パート職員	39	3	3	39(3)	37(1)
合計	178	16	24	170(8)	168

※正職員登用者 【なし】　※新卒採用　4名

5. 会議及び委員会

≪PJ活動ほか≫

会議名	活動実績
□　求人PJ	●　1 回開催(7/8) 新卒採用が 1 名となりその後の活動が無かった。
□　研修推進PJ	●　新型コロナウイルスの影響で実施出来なかった。
□　夏祭り実行委員会	●　新型コロナウイルスの影響で夏祭り中止 ●　3回開催(6/21、7/5、8/4)

≪研修≫

研修名	開催実績
□　新任職員研修会（正規職員）	●　4/1～2 実施（新卒 4 名、中途採用 4 名）
□　実践事例報告会	●　新型コロナウイルスの影響で中止した。
□　中堅職員研修会	●　新型コロナウイルスの影響で中止した。
□　フォローアップ研修	●　R5年度の新任職員研修のカリキュラムで実施することとした。
□　内定者研修会	●　新卒採用者が1名となり、実施しなかった。
□　プリセプター養成研修	●　コロナ感染対策のため見送り、更新研修は暫定処置 R5年度の実施時までは猶予期間を設けた。
□　経営計画発表会	●　R4年度は実施しなかった。

≪法人イベント≫

イベント名	開催実績
□　新人歓迎会	●　コロナ感染対策のため、中止した。
□　理事長杯	●　コロナ感染対策のため、中止した。
□　創立記念日ツアー	●　コロナ感染対策のため、R5年度に見送った。
□　総合防災訓練	●　2回（11/14、3/16～17）
□　大一会夏祭り	●　コロナ感染対策のため、中止した。 ●　各事業所で夏祭りに変わる催しを実施した。
□　フォト＆ムービーコンテスト	●　11/23 実施。
□　法人忘年会	●　コロナ感染対策のため、中止した。
□　初詣	●　コロナ感染対策のため、代表者のみ参加。

≪会議≫

会議名	開催実績
□　理事会	●　3回（6/8、11/24, 3/25）
□　監事監査	●　1回（5/26）
□　定時評議員会	●　1回（6/24）
□　施設長会議	●　7 回（9/12、9/15、10/14、12/23、1/16、2/15、3/3）
□　経営会議	●　未実施
□　第三者委員会	●　2回（6/16、1/19）
□　運営推進会議	●　いろり…6回 （5/12、7/13、9/14 【書面開催】、11/29、1/26 3/20） ●　GH 鈴蘭…4回 （7/19 【書面開催】、10/21、12/16、3/23）
□　身体拘束廃止委員会	●　各事業所で4半期に1回開催
□　課内連絡会（毎月）	●　各事業所で毎月実施 ●　（コロナ感染対策で一部書面開催）
□　職員会議（毎月）	●　各事業所で毎月実施 ●　（コロナ感染対策で一部書面開催）
□　ユニット会議（毎月）	●　各事業所で毎月実施 ●　（コロナ感染対策で一部中止）

□　リーダー会議（毎月）	●　各事業所で毎月実施 ●　（コロナ感染対策で一部中止）
□　各種ミーティング	●　各事業所で毎月実施 ●　（コロナ感染対策で一部書面開催）
□　賞罰委員会	●　なし
□　人事考課委員会	●　夏季 6/7　冬季 11/23

≪見学及び実習受入≫

見学・実習受入	開催実績
□　施設見学	●　WEB 見学会を予定していたが、応募者が無かった。
□　実習受入	●　施設実習 鹿児島女子短期大学（2 名）　9/9～9/23

≪賞罰関係≫

賞罰名	内容
□　表彰	●　伊佐市長表彰（1名）
□　懲戒処分	●　なし

6. 研修関係

(1)外部研修

月	課 名	研修内容	参加数	場 所
4月	知的施設課	・令和 4 年度 定例総会 ・第 16 回障害者スポーツ大会代表者会議	1 名 1 名	鹿児島市 鹿児島市
5月	身体施設課	・令和 4 年度 介護支援専門員更新・再研修 ・ファシリテーター研修会	1 名 1 名	オンライン オンライン
	高齢者福祉課	・令和 4 年度 介護支援専門員更新・再研修	1 名	オンライン
6月	知的施設課	・第二種衛生管理者免許試験準備講習 ・サービス管理責任者更新研修	1 名 1 名	鹿児島市 オンライン
	就労支援課	・第二種衛生管理者免許試験準備講習	1 名	鹿児島市
	身体施設課	・第二種衛生管理者免許試験準備講習 ・苦しみを和らげる認知症ケア A 研修	2 名 1 名	鹿児島市 オンライン
	高齢者福祉課	・第二種衛生管理者免許試験準備講習 ・苦しみを和らげる認知症ケア A 研修	1 名 3 名	鹿児島市 オンライン
7月	知的施設課	・児童発達支援管理者更新研修	1名	オンライン
	就労支援課	・サービス管理者責任者更新研修	1 名	オンライン
	高齢者福祉課	・令和 4 年度認知症介護実践リーダー研修	1 名	オンライン
8月	知的施設課	・第二種衛生管理者免許試験直前講習 ・第二種衛生管理者免許試験	1 名 2 名	鹿児島市 鹿児島市
	就労支援課	・第二種衛生管理者免許試験直前講習 ・第二種衛生管理者免許試験	1 名 1 名	鹿児島市 鹿児島市
	身体施設課	・第二種衛生管理者免許試験直前講習 ・第二種衛生管理者免許試験	2 名 2 名	鹿児島市 鹿児島市
	高齢者福祉課	・第二種衛生管理者免許試験直前講習 ・第二種衛生管理者免許試験	1 名 1 名	鹿児島市 鹿児島市
9月	身体施設課	・介護の入門的研修 ・第 44 回全国身体障害者施設協議会 研究大会 ・令和 4 年度介護支援専門員更新・再研修 ・第39回九州身体障害児者施設研究大会	2 名 1 名 1 名 5 名	鹿児島市 福岡市 オンライン オンライン
	高齢者福祉課	・介護支援専門員研修Ⅱ	1名	オンライン
10月	知的施設課	・「出来ないことではなく出来ることを～車椅子の母と過ごした奇跡の時間～」	3 名	オンライン
	身体施設課	・ガンになった緩和ケア医の体験 ～それまでとこれから～ ・出来ないことではなく出来ることを ～車椅子の母と過ごした奇跡の時間～	2 名 2 名	オンライン オンライン
	高齢者福祉課	・ガンになった緩和ケア医の体験 ～それまでとこれから～	4 名	オンライン
11月	本部事務局	・第 2 回社会福祉法人会計研修 ・社会保険合同実務研修会	1 名 1 名	オンライン 鹿児島市
	知的施設課	・児童発達支援管理責任者実践研修 ・相談支援従事者現任研修 ・強度行動障害支援者養成研修(基礎) ・「職場でのハラスメント対応について」 ・社会福祉法人監事等研修会	1 名 1 名 1 名 1 名 1 名	オンライン オンデマンド配信 オンライン オンライン 姶良市

	就労支援課	・第 3 回就労移行支援事業所連絡会	1 名	オンライン
	身体施設課	・CareTEX 福岡'22 ・第 1 回姶良・伊佐圏域研修会 ・強度行動障害支援者養成研修(基礎) ・姶良・伊佐地域振興局管内給食施設連絡協議会総会及び研修会 ・全障協　第 10 回職員スキルアップ研修会 ・職場でのハラスメント対応について	2 名 2 名 1 名 1 名 1 名 1 名	福岡市 霧島市 オンライン オンライン オンライン オンライン
	高齢者福祉課	・主任介護支援専門員更新研修	1 名	オンライン
12月	知的施設課	・相談支援従事者現任研修(前期) ・強度行動障害支援者養成研修(基礎) ・在宅医療・介護連携における研修会	1 名 1 名 1 名	オンライン オンライン 伊佐市
	就労支援課	・令和 4 年度安全運転管理者等法定講習	1 名	オンライン
	身体施設課	・強度行動障害支援者養成研修(基礎) ・令和 4 年度安全運転管理者等法定講習 ・九州地区障害者相談支援事業合同研修 ・令和 4 年度鹿児島県医療的ケア児等コーディネーター養成研修(支援者養成研修)	2 名 1 名 2 名 2 名	オンライン オンライン オンライン オンライン
1月	本部事務局	・第 3 回社会福祉法人会計研修	1 名	オンライン
	知的施設課	・相談支援従事者現任研修(中期) ・介護支援専門員実務研修前期 ・さつま町子どもの発達支援連絡会	1 名 1 名 1 名	オンライン オンライン オンライン
2月	本部事務局	・社会福祉法人会計実務者決算講座 ・障害者雇用納付金制度事務説明会	1 名 1 名	オンライン 霧島市
	知的施設課	・相談支援従事者現任研修(後期) ・強度行動障害支援者養成研修(実践) ・相談支援従事者専門コース別研修 ・第2回伊佐市幼・保・こ・小連携研修会 ・障害者虐待防止・権利擁護研修	1 名 2 名 1 名 2 名 4 名	オンライン オンライン オンライン 伊佐市 オンデマンド配信
	身体施設課	・強度行動障害支援者養成研修(実践) ・相談支援従事者専門コース別研修 ・九州協　第 5 回定例理事会・第 2 回施設長総会 ・第 49 回九州障害者支援施設研究大会 ・障害者虐待防止・権利擁護研修	3 名 2 名 1 名 6 名 3 名	オンデマンド配信 オンライン 福岡市 ライブ配信 オンデマンド配信
	高齢者福祉課	・障害者虐待防止・権利擁護研修 ・認知症介護基礎研修　e-ラーニング	1 名 3 名	オンデマンド配信 オンライン
3月	知的施設課	・介護支援専門員実務研修後期(オンライン)	1 名	オンライン
	身体施設課	・第 35 回経営セミナー ・認知症介護基礎研修　e ラーニング ・令和 4 年度鹿児島県医療的ケア児等コーディネーター養成研修	3 名 5 名 1 名	オンデマンド配信 オンライン 鹿児島市
	高齢者福祉課	・「多職種連携について考える会」 ・認知症の人の相談援助にかかわる社会福祉士等の実践と対人援助	3 名 2 名	伊佐市 オンライン

(2)内部研修

月	課名	研修内容
4月	知的施設課	・入職時オリエンテーション ・大一会新人職員研修会
	身体施設課	・大一会新人職員研修会 ・オリエンテーション研修
	高齢者福祉課	・大一会新任職員研修会 ・コミュニケーションの在り方について(訪問介護) ・対人援助論基礎研修(GH 鈴蘭・いろり) ・新任職員オリエンテーション(いろり) ・事例検討会【対人援助論】(GH 鈴蘭・いろり)
5月	身体施設課	・事例検討会【対人援助論】
	高齢者福祉課	・虐待防止及び権利擁護(訪問介護) ・介護保険制度について(いろり) ・事例検討会【対人援助論】(GH 鈴蘭・いろり)
6月	本部事務局	・制度の理解について(重心医療・経理規定)
	知的施設課	・入職時オリエンテーション
	身体施設課	・オリエンテーション研修 ・事例検討会【対人援助論」
	高齢者福祉課	・完成賞及び食中毒(訪問介護) ・ケアマネの仕事の範囲～業務外の仕事(居宅)
7月	高齢者福祉課	・緊急時対応・お菓子作り(訪問介護) ・虐待防止権利擁護(いろり) ・事例検討会【対人援助論】(GH 鈴蘭・いろり) ・看取りケアについて(GH 鈴蘭)
8月	身体施設課	・デスカンファレンス
	高齢者福祉課	・介護保険制度(訪問介護) ・BCP について(居宅) ・ハラスメントについて(いろり) ・事例検討会【対人援助論】(GH 鈴蘭・いろり)
9月	身体施設課	・事例検討会【対人援助論】 ・虐待防止権利擁護研修
	高齢者福祉課	・障害者福祉制度(訪問介護) ・事例検討会【対人援助論】(GH 鈴蘭・いろり) ・新任職員オリエンテーション(いろり)
10月	本部事務局	・フラワーアレンジメント
	知的施設課	・看取り研修(基礎編)
	身体施設課	・事例検討会【対人援助論】 ・オリエンテーション研修
	高齢者福祉課	・介護技術演習(訪問介護) ・集団指導の内容確認(居宅) ・事例検討会【対人援助論】(GH 鈴蘭・いろり) ・認知症の人のケア(いろり)
11月	知的施設課	・看取り研修(基礎編)
	身体施設課	・事例検討会【対人援助論】
	高齢者福祉課	・事故発生及び再発防止(訪問介護) ・事例検討会【対人援助論】(GH 鈴蘭・いろり) ・実践事例発表(GH 鈴蘭)

12月	高齢者福祉課	・認知症・リース作り（訪問介護） ・ハラスメントについて（居宅）
1月	知的施設課	・入職時オリエンテーション
	身体施設課	・事例検討会【対人援助論】
	高齢者福祉課	・薬の種類と効果（訪問介護） ・事例検討会【対人援助論】（GH 鈴蘭・いろり） ・デスカンファレンス（GH 鈴蘭）
2月	本部事務局	・基礎的な介護技術について
	身体施設課	・事例検討会【対人援助論】
	高齢者福祉課	・虐待防止及び権利擁護（訪問介護） ・リスクマネジメント/苦情対応（居宅）
3月	本部事務局	・救急法について
	知的施設課	・看取り研修（基礎編）
	身体施設課	・事例検討会【対人援助論】
	高齢者福祉課	・調理と食事介助・茶話会（訪問介護） ・事例検討会【対人援助論】（GH 鈴蘭・いろり）

7. 各課の事業報告

(1)本部事務局

1. 重点目標

① NO 残業デーの推進

- 昨年から引き続き重点目標としているが、今回は一人一人が時間管理を意識することで、残業ゼロを概ね実施することができた。しかし繁忙期や期限のある業務においては残業をせざるを得ない状況があった。
- 月曜日と木曜日の 16:30～清掃タイムを導入し、退勤時刻と作業終了時刻を合わせることで、業務の切り替えがスムーズにできた。引き続き継続していきたい。
- 有給取得の状況は各自の業務に負担がないようにしたうえで、昨年度と比べて有休消化率が平均で 20%アップした。

② 業務のスリム化

- 出張復命書提出がサイボウズにて申請できるようにシステム化し、業務の簡素化をはかった。当初はコロナ禍の影響で使用する機会が少なく、認知度がなかなか上がらなかったが、研修の参加が増えてきて職員へ周知することで、復命書提出の効率がアップしていると感じる。
- 事務処理業務も申請や書類提出等の電子化が増えているので、対応できるものは積極的に取り入れた。今後法改正のある電子帳簿保存法についても準備していきたい。
- 業務効率を上げるために事務の基礎知識の習得に取り組んだ。ZOOM での研修参加や情報誌などから情報収集ができた。今後も新たな制度による必要な情報を得るため積極的に参加していきたい。

③ 感染対策の徹底

- 定期的な消毒タイムの導入で、時間を設定し全員で一斉に取り組んだので、細かいところまで感染予防対策ができていたと思う。今後も継続していきたい。
- 昼食時に黙食の実施、食事場所を分ける等感染予防に努めた。
- 備蓄品の管理は、物品倉庫に配置表を設置し管理しやすい様に工夫した。欠品前に気づきやすくスムーズにできた。

2.研修計画

月	テーマ	内容
6月	・制度の理解について（重心医療、経理規定）	・感染対策に配慮しながら実施した
１０月	・フラワーアレンジメント	・感染対策に配慮しながら実施した
2月	・基礎的な介護技術について	・感染対策に配慮しながら実施した
3月	・救急法について	・新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止

(2)知的施設課 【障害者支援施設大口園／サポートハウスゆとり】

1. 重点目標

① 事故に対する意識と対策

- 新型コロナウイルスの感染状況に合わせて対策を行い、施設内における感染拡大は防げた。サポートハウスゆとりではご利用者の感染が見られたが感染対策を徹底し、広がることはなかった。令和5年度も引き続き基本的な感染対策を継続していく。

② 心地よい暮らしと安心できる居場所づくり

- ウッドデッキは、行事やユニットイベントで活用することができた。具体的な鳥害対策は取り組むことはできませんでしたが、高圧洗浄機を購入し定期的に洗浄を行った。
- 男性浴、女性浴ともに浴室のタイルが剥がれて落下する危険性があったため、改修工事を行った。ご利用者の状態も変化が見られるため令和5年度はご利用者の状況に合わせた環境改善を検討していく。
- 空気の循環が悪い箇所に廊下にサーキュレーターを設置し、室内の空気の循環をさせた。廊下へのエアコンの設置については、予算的問題から見送った。
- 廊下の照明の改善については、現状を把握し検討を行った。令和5年度に実施予定。
- ゆとりⅠ（日中サービス支援型）の日中活動は年間計画を立てて、農園芸・創作などある程度、計画的に取り組むことができた。令和5年度は活動を地域との繋がりに発展させていきたい。
- コロナ禍で大々的なイベントや外出等はできなかったが、感染対策を行いながら月に1回のイベントを開催し、余暇活動の充実を図った。
- 多目的ホールを観葉植物や棚等で空間を区切ることで、新たにご利用者が過ごせる場所を作ることができた。それにより在宅ご利用者数が増えてきている現状にも対応することができた。
- 外部の専門職を招いてリハビリ等を行うことはできませんでしたが、専門職を中心に口腔体操や散歩等を行った。令和5年度も継続したい。

③ 障害特性に対応できるスタッフの専門性とユニット連携

- 外部講師とオンラインで看取り研修の基礎編を3グループに分かれて行った。令和5年度は応用編を受講し、実際にご利用者・ご家族に意向確認を行っていきたい。
- ユニット会議を援助の学びの機会に充て援助の質の向上を図った。また、1月からは階層別に分かれてグループによって学びを更に深めた。令和5年度も継続する。
- 歯科衛生士と現場スタッフが連携を図り、ご利用者の口腔ケアに努めた。また、少しずつではあるが歯科受診ができる方も増え計画的に進めることができた。口腔ケアに関する加算取得については、令和5年度に申請を行う。

令和4年度　行事報告書

実施月	行　事	内　　容
4 月	・花見	・団子作り、ゲームを行った。
5 月	・春の味覚 ・障害者スポーツ大会	・筍ご飯、豚汁、旬の炒め物をご利用者と一緒に調理した。 ・コロナウイルス感染拡大のため参加自粛
6 月	・六月灯	・灯篭を作成し中央廊下に飾った
7 月	・七夕	・短冊や飾りを作成し飾った
8 月	・縁日 ・フライングディスク大会	・コロナウイルス感染拡大のため中止とした。 ・感染拡大のため参加自粛
9 月	・スポーツ ・風船バレー大会	・施設内でボウリング（ユニット対抗）を実施。 ・コロナウイルス感染拡大のため参加自粛
10 月	・わくわくスポーツ大会	・コロナウイルス感染拡大のため中止。 代わりにグラウンドゴルフ・のど自慢大会を実施。
11 月	・創作活動	・秋をテーマに2週間ほどかけて制作・掲示した。
12 月	・クリスマス	・カラオケ、映画鑑賞、ゲーム、行事食の提供。
1 月	・新春	・書初め、福袋、ぜんざいを提供した。
2 月	・3者合同新年会 ・節分	・コロナウイルス感染拡大のため中止。代わりにご利用者と職員で新年会を実施した。 ・豆まき、ホットチョコレート
3 月	・花見	季節の料理、カラオケ大会を実施した。

【生活支援センターふれあい】

1．重点目標　地域の支援力の向上を目指した支援を行ないます。

①　個人のケースを通して、園や学校、事業所のスタッフが様々な子どもの支援に応用していけるような施設支援を実施します。

- 継続的に入っている保育園への施設支援において、これまでの助言が生かされた支援が実施されていることを実践場面で確認することが出来た。また、気になる園児として挙がったケースを通して、〇〇の傾向がある子どもに対してどのような支援をしたらよいか、派遣を行なった専門職の助言をもらいながら検討をすることが出来た。
- 一方で、毎回同じ助言を行なっていて、支援の応用に繋がっていない園もある。

②　契約をしている専門スタッフ、保健師、相談支援専門員等と協働しながら、園や学校、事業所に通う子どもや保護者、スタッフを支援致します。

- 保育園や幼稚園については、保健師や契約している専門スタッフと一緒に訪問を行ない、園のスタッフへの助言や個別面談（子どもの発達検査・検査結果を踏まえた保護者面談）を実施した。教育委員会と連携を行なう機会もあり、就学をしている生徒への発達検査や検査結果を踏まえた保護者・学校の先生との面談も実施した。
- 学校の先生から放課後等デイサービスを利用している生徒についての相談を受けた為、放課後等デイサービス事業所や相談支援専門員と連携を図ることを提案させていただいた。

③　施設支援を実施するにあたっての事前アセスメントと事後のフォローを行なうことで、園や学校、事業所のスタッフの気がかりに気づけるよう支援を致します。

- 施設支援実施前に、依頼された園や学校、事業所にアセスメントシートを作成していただき、どのようなことに困っているのかを把握した上で支援を実施した。当日のカンファレンス時にも、スタッフの気がかりに対して助言を行なう時間を作り対応をした。事後のフォローについては、その後の依頼があった園については支援時に確認をすることが出来たが、依頼のなかったところについてはその時だけの支援になってしまったところもあった。
- 「気になる園児がいるので見に来てほしい」とコーディネーターの訪問を希望された園もあった。その園については、コーディネーターのみで訪問を行ない、今園で取り組まれていることを確認しながら、コーディネーターからの視点で助言を行なったケースもあった。

【キッズステーションみらe】

1. 重点目標

① うれし！たのし！だいすき！な　みらｅ！

- 児童のしたいこと、やりたいことをテーマや目標に掲げタイムスケジュールを作成し活動の提供を行った。その時の状況で思うように活動に参加できない児童については寄り添い、個別の活動の提供や集団の中に戻れるように見通しを立たせる支援を行った。
- トランポリンを設置し児童の楽しみが増えた。また、定期的に前庭の除草作業を行うと共に開所日は登園前に石ころ拾いや害虫がいないか等、確認を行い安全に活動できるようにした。

令和４年度　行事報告書

実施月	行　事	内　　容
５月	･保護者合同 BBQ	･コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。
10 月	･ピクニック ･ハロウィン	･コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。 ･仮装をして他事業所を訪問し、お菓子を貰われた。
12 月	･クリスマス	･大雪と重なったため、日程を変更しプレゼントをお渡しした
２月	･豆まき	･職員が鬼になり豆まきを行った。
３月	･お別れ遠足 ･卒園式	･【児童発達支援】 曽木の滝公園でお別れ遠足を行った。 ･【児童発達支援】 児童と職員とでお別れ会を実施した。

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い思うように行事の提供はできなかったが、長期休暇ではクッキングやお菓子作りなどを行った。

（3）就労支援課 【ワークセンターあかり】

1. 重点目標

① 黒字化計画

- 新規ご利用者として1名の登録があったが、利用されなくなったご利用者もあり、登録者数に変わりはなかった。またコロナ感染拡大の影響で営業を見合わせた期間もあり、延べご利用者数が減となった。
- ネット販売に向けた商品のラインアップについては、梅塩など新たに加えたが、ネット販売の構築には至らなかった。
- 設備・備品については、設備の点検整備を行い、適切に交換を行っている。温泉設備については、突発的な不具合もあり、耐用年数も加味した計画的な修繕が課題となった。
- 作業の見直しによるご利用者の作業選択肢を増やすことや障がい特性に応じた支援、機械等の導入について令和4年度は実施できず、令和5年度に持ち越しとした。

② お客様満足度の向上（曽木の滝温泉センター）

- お客様への丁寧な対応についてご要望等について、都度、適切に対応を行っていた.。
- 温泉設備のトラブルによって営業時間の見直しや営業中止について、早めに確定しお客様に LINE 情報として流すなど対応を行ったが、修復の見通しを誤り、予定時間が変わりお客様にご迷惑をお掛けする状況もあった。
- 徹底した情報共有について現場内で連絡表を活用し、確認することでスタッフ内の情報共有ができ、トラブル時の対応状況把握、フォローが出来るようになった。
- 家族風呂の集客として、専用駐車場の整備、家族風呂専用の入浴セットの販売、定期的にご利用していただけるよう回数券の販売を開始した。

③ 利用者満足度の向上

- 複数のご利用者と利用者会議を実施したが、個々の意見が出ない状況もあり、途中から個人毎の利用者会議に変更し、要望や意見をお聞きするようにした。改善できる事項については即実施し、課内連絡会や職員会議で報告した。
- 健康管理、感染症予防に向けたバイタルチェックは継続し実施した。作業前・午後からの作業前・ 作業終了時に検温、体調不良が無いか確認を行った。
- 4Sについて作業前後の整理整頓、清掃も行えていた。使用器具の置き場整備が課題として残った。
- 前期は感染対策を行い、ご利用者と野外でイベントを行う事が出来たが、コロナウイルスの感染拡大に伴い中止し、ご利用者の意向に沿う事が出来なかった。

2. 数値目標

≪目標工賃&実績≫

	年　度	Ｒ４年度目標	Ｒ４年度実績	目標達成率
工賃	区　　分	月　給	月　給	―
	支払対象者	340 人	305 人	96.4%
	工賃目標額	17,500 円	18,161 円	103.7%
	工賃支払額	5,950,000 円	5,539,300 円	93.0%

・Ｒ３年度登録利用者 29 名で、平均利用者数 21.1 人
・Ｒ４年度登録利用者 28 名で、平均利用者数 20.0 人

≪目標年間温泉利用者数≫６７，２９５人に対し、５０，９９０人の実績
・目標比　７６％　・一日平均利用者　１６２人

≪作業種目別の実績≫

作業種別	作　業　内　容	目標	年間目標額	実績額
生産業務	梅 （青梅･完熟･加工）	8t	2,500,000	2,029,108
	米販売 （精米･配達）	週 1 精米	3,650,000	3,618,328
	野菜 （生産･加工･販売）	随時	1,100,000	785,580
受託業務	サンコー （3 種作業）	随時	3,600,000	2,861,532
	資源分別 （空瓶開栓･運搬）	随時	240,000	211,160
	清掃等委託作業 （鹿児島県･伊佐市･民間）	随時	2,400,000	2,308,951
	オムツ処理 各施設分	週 2 回	2,400,000	2,400,000
接客 販売業務	温　泉 （入浴料･商品販売）	営業日	19,440,000	20,964,054
温泉 使用料	各施設へ供給	随時	7,560,000	7,560,000
合　計			42,890,000	42,738,713
目標達成率				99%

令和4年度　就労支援課　行事報告

実施月	行　事	内　容
4月	―	―
5月	青梅直売イベント	
6月	青梅直売イベント	感染対策を取りながら実施できた。 地域向けに 1 キロ 400 円（100 円引き）で販売
7月	総合防災訓練【前期】	あかり 1 号棟（洗面所付近）からの出火想定 感染対策として各事業所（小規模単位）で実施した。
8月		―
9月	大一会夏祭り	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。
10月	余暇活動	新型コロナウイルス感染対策を取りながら、少人数でバーベキューを実施した。
11月		
12月	余暇活動（忘年会）	新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止した。
1月	^―	
2月	―	―
3月	法人防災の日 総合防災訓練【後期】	新型コロナウイルス感染対策に伴い中止した。 温泉センター（加工場）からの出火想定 感染対策として各事業所（小規模単位）で実施した。

(4)身体施設課 【障害者支援施設星空の里】

1. 重点目標

① 居心地の良い快適な空間つくりへの取り組み

・アルコール消毒及び清掃の徹底(1日1回～2回)換気を行なった。
・補助金を活用し，見守り支援機器のアームスを導入した。
・月 2 回以上のイベント食事を行ない，ご利用者に喜んで頂けた。
・食器を新しく買い直し，食事が見栄え良くなった。
・第二種衛生管理者免許試験に合格した。
・「職場でのハラスメント対応について」の研修会に参加し，学びを深めた。

② 施設整備及び改修工事に向けた取り組み

・コロナ禍での蔓延防止対策として，抗原検査キットの充足及び，スタッフへ配布した。
・コロナ禍での蔓延防止対策として，手袋やエプロン等の保健衛生品の備蓄を行なった。
・東側額崩れに伴う排水工事及びスプリンクラーの修繕工事を終えることができた。
・井水受水槽設備の更新工事を行なった。
・冷凍冷蔵庫の更新を行なった。
・厨房とボランティアルームの LED 化を行なった。
・床暖房の配管修繕工事を行なった。
・浴室の配管レバー修繕工事を行なった。
・食堂のカーテンからブラインドへと修繕工事を行なった。

③ 対人援助の専門職としての取り組み

・苦しみを和らげる認知症ケア研修 A を1名受講した。
・リーダー専門職向けとスタッフ向けの対人援助論の勉強会を継続開催し，学びを深めた。
・介護福祉士国家試験に，1名合格した。
・加算取得に関する強度行動障害支援者養成研修を3名受講した。
・人員基準要件に関する認知症介護基礎研修を5名受講した。
・加算取得に関する医療的ケア児等コーディネーター養成研修を1名受講した。
・入職時オリエンテーションにおいて，対人援助の専門職としての教育を行なった。
・ご利用者がお亡くなりになられた都度，デスカンファレンスを行ない，援助実践を振り返った。

令和 4年度　身体施設課　行事報告書

実施月	行　事	内　容
4月		
5月		
6月		
7月	・不在者投票	・参議院議員通常選挙に11名のご利用者が参加された
8月		
9月		
10月	・秋祭り	・神輿づくり，屋台料理，ゲームを食堂で実施した
11月	・フォットコンテスト	・良い介護の日にちなんだ写真コンテスト
12月	・クリスマス会 ・餅つき大会 ・そば打ち	・クリスマス料理，実演料理，ゲーム大会を各ユニットにて実施した ・食堂での餅つき体験 ・食堂でのそば打ち体験
1月	・新年会 ・鏡開き	・新年の挨拶，正月料理，ゲーム大会を各ユニットにて実施した ・栗ぜんざいを作り，食した
2月		
3月		
その他	・各クラブ活動 ・各ユニットでの活動 ※随時実施	・クラブ活動（フライングディスク） ・ユニット外出（食事・買い物・ドライブ・散歩など） ・ユニット活動　・創作活動　・茶話会　・レクリエーション

※ユニット活動については，各ユニットが主体的に活動を計画，気軽に実施できる体制を整備し，取り組んだ。

【相談支援センター　星空の里】

1．重点目標

① ご利用者が安心して暮らすことができる地域づくりに貢献します。

・サービスで補うことができないことへの支援，支援のなさは相談支援部会で訴えてきたが，なかなか開発ができなかったり，方法が見つからない現状が続いた。
・同行援護を実施する事業所が出てきた。市も，行政としての決まりごと等を決め，整備することができた。今後は，行動援護を実施する事業所も出てきてほしい。
・介護保険への移行で，慣れない環境へ移ることによるご本人の不安，負担額が発生したりなどのデメリットが目立った。その都度，ご本人が分かりやすい説明を行なった。
・就学に向けた準備を事業所やご家族と，話し合いながら進めることができた。
・高校を卒業する児童に対して，養護学校と連携を取り，就労先や訪問看護の利用等，今後についての話し合いを行なうことができた。

② 計画作成・モニタリングを計画的に実施し、ご利用者やご家族の気がかりを必要なタイミングで伺い、援助を実践していきます。

・可能な限り，円滑に業務ができるよう調整はしたが，計画の時点で上手く調整ができず，確実にモニタリングを行うことができない時もあった。
・他業務もあり，なかなか業務（計画作成・モニタリング・相談支援業務）が進まなかった。
・別の場所で計画作成をする等，事業計画を作成時にいろいろ案を出したが，環境面が整わない等の不都合もあり，場所を変えての業務を行うことができなかった。
・聞き取りは事業所もいろいろな形で対応をして下さり，前年度と比べ，効率的に行うことができた。

③ その他

・計画書等は各事業所へ渡していたが，現場スタッフに聞き取りをした際に，浸透されていない現状があると感じることが多々あった。

【グループホーム　時遊】

1．重点目標

①　ご利用者・ご家族・スタッフが共に居心地を感じあえる場を作ります（時遊な空間）

・季節を感じられる行事については，バーベキュー・十五夜・クリスマス会・新年会・節分を行う事ができた。今後は，係だけで内容を決めるのではなく，ユニット会議で早めの話し合いを行ない，より充実した季節を感じられる行事の提供を行ないたい。
・余暇活動などの時間を提供したかったが，スタッフの人数に余裕がある日が少なく，余暇時間がなかなか作れず，ご利用者の「これやってみたいな」が実行できなかった。
・玄関に足ふきマット（濡らしたバスタオル）を敷き，玄関を開放することで，ご利用者が外へ出やすい環境を作った。日向ぼっこや散歩などされる姿がみられた。

②　ご利用者・ご家族・スタッフそれぞれの時間を大切にします（時遊な時間）

・どんなに忙しい時でも職員主体の意思決定ではなく，本人に意思を聴き，決定できた。
・ご利用者に困りごとがあった時に，ご利用者自身が自己決定できるよう，複数の情報や選択肢をお伝えし，ご利用者が悩まれた時には想いを傾聴することができた。
・ガーデニングをする職員の様子を見て，ご利用者からお声を掛けて頂き，ご利用者と一緒に花の苗植え・水やり，玄関前の草取りを行なうことができた。
・ご利用者から，「元気が出るからお肉を食べたい」というご要望を頂き，バーベキューを行ない，喜んで頂くことが出来た。

③　ご利用者・ご家族・スタッフが共につながりを感じることができる機会を作ります（時遊な関係）

・援助論について学ぶ機会が少なく，ご利用者との関りで悩むことがあった。援助論を学ぶ事で，もっとご利用者に寄り添う事ができるのはないか，と感じた。
・ユニット会議や引継ぎ等で情報を共有し，スタッフ間で想いを語り合う事ができた。
・年賀状や母の日のプレゼントのお手伝いをさせて頂いた。
・感染症流行にて面会が制限される中でも，ご利用者のご様子についてユニット通信を通じて，ご家族に伝えることができた。

(5)高齢者福祉課 【認知症対応型共同生活介護】

1. 重点目標

① 援助的な環境(関係・ひと・もの・ことば・設え・タイミング)づくりをします。

- 毎月1回、他事業所との合同による事例検討会に参加し、スタッフそれぞれが理解の深化に努めた。
- リーダーと各ご利用者の担当を中心にその方の援助の在り方について検討し、必要に応じてご家族の意見をいただくこともあった。
- 看取りケアを実施。ご家族との話し合いを重ねながら、目指すべき方向性を明らかにし、スタッフ一同が同じ想いのもと援助を行った。
- 各担当スタッフが中心となり、ご利用者の居室の整理整頓、清掃を行い快適な環境が維持できるよう努めたが、事業所内で新型コロナウィルスのクラスターが発生。当たり前の環境が一瞬で変化することに戸惑いを感じながらも、自分達のやるべきことを忘れることなく、ご利用者の援助に専念できたと振り返る。

② 援助的職場環境をつくる。(笑顔溢れる現場へ)

- 対人援助論を基にした援助的コミュニケーションについて学び実践した。
- 朝礼時や空いた時間にスタッフ間で課題を共有し、改善に向けて検討する機会を作ってきた。
  今後は業務の改善を行いながら、更に働きやすく、互いに語り合える時間が作りやすい環境を整えていきたい。
- スタッフ一人が悩みを抱え込まないよう、課題を共有しチームとして解決できる関係性が構築できている。
- 臨機応変に勤務の調整や担当の調整を行いながら、スタッフの負担が軽減を図った。
- 又記録の電子化を推進し、業務負担の軽減を図った。

③ ケアの質の向上に取り組みます。

- 2名のスタッフが苦しみを和らげる認知症ケアA研修を受講し修了した。
  今後も毎年1～2名のスタッフが受講できるよう計画を立てていく。
- 1名のスタッフが介護福祉士の資格を取得した。
  今後も実務年数を満たすスタッフに対しては資格取得の推進していく。
- スタッフ5名が認知症介護基礎研修 e ラーニングを受講し修了した。
- リーダー1名が認知症介護実践リーダー研修を受講し修了した

【訪問介護・総合事業（予防相当）・居宅介護・重度訪問介護】

1．重点目標

① ご利用者・ご家族の想い，願いを傾聴し，実践とつながる計画書を作成します。

- 訪問時にはご利用者話をする機会を作り、コロナ禍ではあったもののマスク着用、消毒、フェイスシールド等の感染対策を講じながら担当者会議にも積極的に参加した。
- 月に2回訪問介護連絡会を行いヘルパーが集まる時間を作り、課題の整理、共有を行った。
- ケアマネージャーを中心に、必要であれば行政とも連携を図った。

② 対人援助の専門職として資質向上に努めます。

- 事業計画に沿った内部研修を開催した。新型コロナウィルスの感染状況に応じて書面開催に切り替える等、柔軟な対応を行った。
- 管理者が介護実習・普及センター主催の「介護職スキルアップ研修」に参加した。
- ご利用者が新型コロナウィルスに罹患し、当人を孤立させない、サービスを途切れさせない為の策を講じ援助を行った。結果、今後にも活かしていける事例となった。

【指定居宅介護支援・地域包括支援サブセンター】

1・重点目標

① 感染症対策・BCP（事業継続計画）の作成

- コロナウイルスによる感染症が発生してから 3 年が経過。感染症対策を行いながら、訪問等の業を実施することができた。その時の感染状況により、リモートワークを実施しながら対応することができた。

② 困難事例・重度化防止への取り組み

- 家庭環境の複雑化に伴い虐待などの問題・単身高齢者の増加、身元引受人が不在の方など、多種多様な困難事例に対し、同行訪問を行うなどし、事業所の中で情報を共有することができた。また、行政や医療、障害との連携を図り対応することができた。コロナ関係で県外からの帰省などによりサービスの中止があり調整に苦慮した。

【小規模多機能型居宅介護】

1・重点目標

① 対人援助職としての職員の資質向上

- 毎月1回の実施は出来なかったが、他事業所との合同による事例検討会に概ね参加できた。他事業所との関わりを通し、自分たちの援助の在り方について振り返る機会となった。令和5年度も継続していく予定となっている。
- スタッフ1名が介護福祉士の資格を取得した。令和5年度もスタッフ1名が介護福祉士取得に向けてスクーリングに参加予定となっており、事業所としてもサポートしていく。
- スタッフ1名が社会福祉士の資格を取得した。
- スタッフ1名が苦しみを和らげる認知症ケア A 研修を受講し修了した。
- スタッフ3名が認知症介護基礎研修 e ラーニングを受講し修了した。
- 新型コロナウィルス蔓延防止の観点から合同での研修は見送った。令和5年度からはグループホーム鈴蘭との合同研修を開催する予定となっている。

② 地域を感じられる事業所作り

- 普段とは違った雰囲気を味わっていただきたい、想い出を作っていただきたいという想いの元、季節に応じた食事を提供させていただき、時には事業所の縁側で食事を摂っていただく等実施した。
- 地域行事はコロナ禍なこともあり中止となる行事が殆どでした。地域の立哨活動等、可能な範囲で参加をした。
- コロナ禍だったからこそ毎月のいろり通信により、事業所での活動を中心に編集し、継続して発行した。ご家族からも事業所での様子が垣間見えると意見がいただいており、今後も発行を継続する。

③ 安心が得られる事業所作り

- 朝8：30からと、夕方17：00からの2回、事業所内の清掃を実施した。
- その日起きたことはその日の勤務者で検討し、柔軟な対応ができるよう努めた。
  事例によってはご家族を交えながら現状の確認、情報の収集を行いカンファレンスに挑んだ。
- スタッフ1名が第二種衛生管理者免許試験を受け合格した。

令和4年度　高齢者福祉課（総括）　行事報告

実施月	行　事	内　容
4月	・夏野菜と草花植え付け ・花見ドライブ ・誕生日会	・建物前の畑に夏野菜と草花を植え付けた（GH 鈴蘭） ・ご利用者と伊佐市内の桜の花を見学しにドライブに出かけた（いろり） ・昼食時にご利用者の誕生日をお祝い（GH 鈴蘭）
5月	・節句ランチ ・味噌つくり ・ちまき作り	・こどもの日節句料理を提供（いろり） ・ご利用者とスタッフ共同で味噌作り（いろり） ・ご利用者とスタッフ共同でちまきつくり（GH 鈴蘭）
6月	・梅干しつくり ・パフェ作り ・誕生日会	・ご利用者とスタッフ一緒に梅干しつくり（いろり） ・ご利用者にトッピングを選んでいただきながらパフェ作り（いろり） ・昼食時にご利用者の誕生日をお祝い（GH 鈴蘭）
7月	・たこ焼き作り	・ご利用者とスタッフ共同でたこ焼き作り（いろり）
8月	・ミニ夏祭り ・ソーメン流し	・ご利用者と縁日を開催（いろり） ・昼食時にソーメン流しを提供（GH 鈴蘭）
9月	・敬老会 ・敬老会	・感染防止として、規模を縮小しお祝い会を開催（いろり） ・感染防止として、規模を縮小しお祝い会を開催（GH 鈴蘭）
10月	・誕生日会 ・曾木の滝ドライブ ・十五夜	・ご利用者の誕生日祝い（GH 鈴蘭） ・ご利用者と曾木の滝へ行き、茶話会を開いた（いろり） ・ご利用者とスタッフ共同で団子を作った（いろり）
11月		
12月	・餅つき ・クリスマス会	・ご利用者とスタッフ一緒に餅つき（いろり・GH 鈴蘭） ・クリスマスの雰囲気の中で，クリスマス料理を提供（いろり・GH 鈴蘭）
1月	・新年会 ・誕生日会	・新年の挨拶，正月料理を提供した（GH 鈴蘭） ・ご利用者の誕生日祝い（GH 鈴蘭）
2月	・節分 ・誕生日会	・豆まきを行ない厄払いした（いろり・GH 鈴蘭） ・ご利用者の誕生日祝い（GH 鈴蘭）
3月	・ひな祭りランチ ・高菜漬け ・誕生日会	・ご利用者にひな祭りランチを提供（いろり） ・地域の方からいただいた高菜を漬け、食事時に提供（いろり） ・ご利用者の誕生日祝い（GH 鈴蘭）

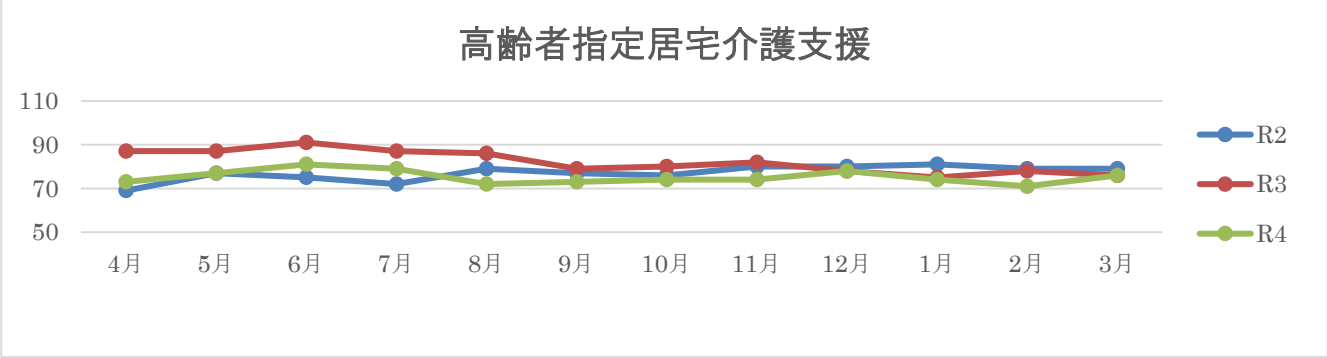
8. 利用実績グラフ（在宅福祉関係）

令和４年度　在宅系サービス利用者実績数

	指定居宅 利用者数	訪問介護 延回数	身障居宅 延回数	星空生活介護 延人員	大口園生活介護 延人員	あかり 延人員	大口園（短期） 延人員	星空の里（短期） 延人員	ゆとり（短期） 延人員	星空通所 延人員	星空通所サ 延人員	いろり通い訪問泊まり 延人員	みらｅ 放ﾃﾞｲ 延人員	みらｅ 児童発達 延人員
4月	73	265	64	102	45	438	77	2	24	80	38	780	178	65
5月	77	261	69	102	40	396	76	8	19	89	45	481	166	69
6月	81	263	75	104	39	456	66	15	13	88	39	604	187	76
7月	79	265	79	89	39	437	68	2	9	77	29	636	176	55
8月	72	274	78	108	51	449	67	3	13	85	36	695	206	51
9月	73	263	75	102	41	421	62	15	12	76	32	609	137	51
10月	74	218	78	107	48	440	92	3	17	79	43	631	164	74
11月	74	250	54	111	49	454	115	5	19	83	39	541	182	74
12月	78	205	79	93	28	377	121	2	16	67	23	503	152	54
1月	74	227	95	97	23	391	112	4	18	64	32	513	155	52
2月	71	225	78	89	41	415	113	7	19	59	42	521	97	73
3月	76	234	89	98	53	458	138	10	17	73	44	584	193	75
R4 年計	**902**	**2,950**	**913**	**1,202**	**490**	**5,132**	**1,101**	**76**	**196**	**920**	**442**	**7,098**	**1,993**	**769**
R3 年計	986	2,877	647	1,458	686	5,409	806	283	151	782	581	9,597	1,978	247
昨年比	92%	103%	141%	82%	71%	95%	137%	27%	130%	117%	76%	74%	101%	311%
R4 月平均	**75**	**246**	**76**	**100**	**41**	**428**	**92**	**6**	**16**	**77**	**37**	**592**	**166**	**64**
R3 月平均	82	240	54	122	57	451	67	24	13	66	49	800	165	21

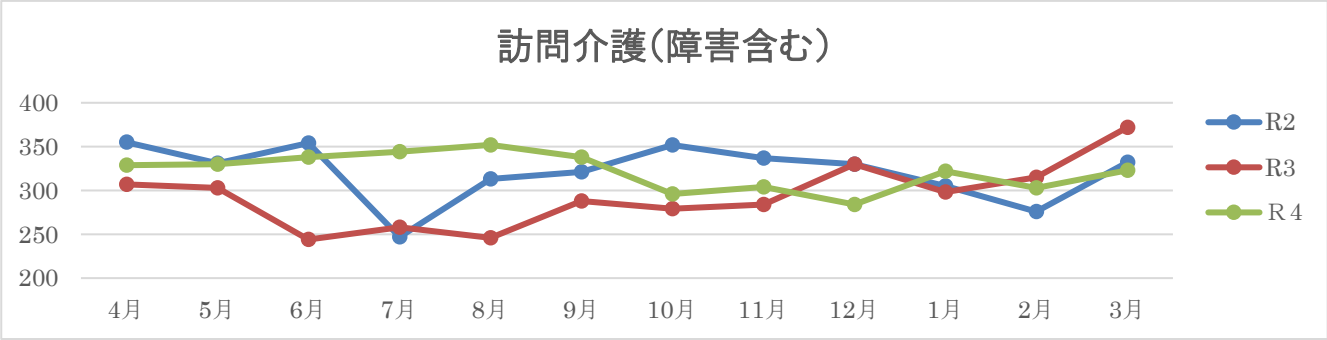
1. 高齢者　指定居宅介護支援

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
R2	69	77	75	72	79	77	76	80	80	81	79	79	924
R3	87	87	91	87	86	79	80	82	78	75	78	76	986
R4	73	77	81	79	72	73	74	74	78	74	71	76	902



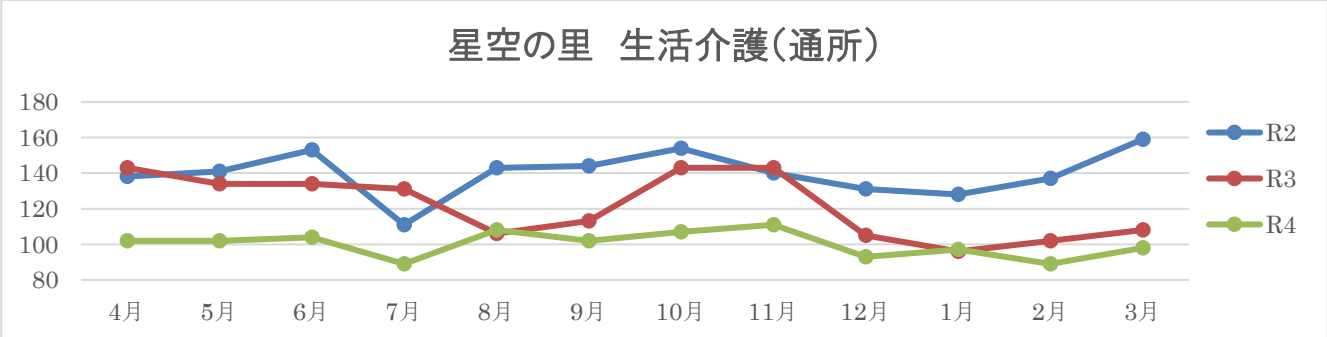
2. 訪問介護（身障居宅含む）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
R2	355	331	354	247	313	321	352	337	330	305	276	332	3,853
R3	307	303	244	258	246	288	279	284	330	298	315	372	3,524
R4	329	330	338	344	352	338	296	304	284	322	303	323	3,863



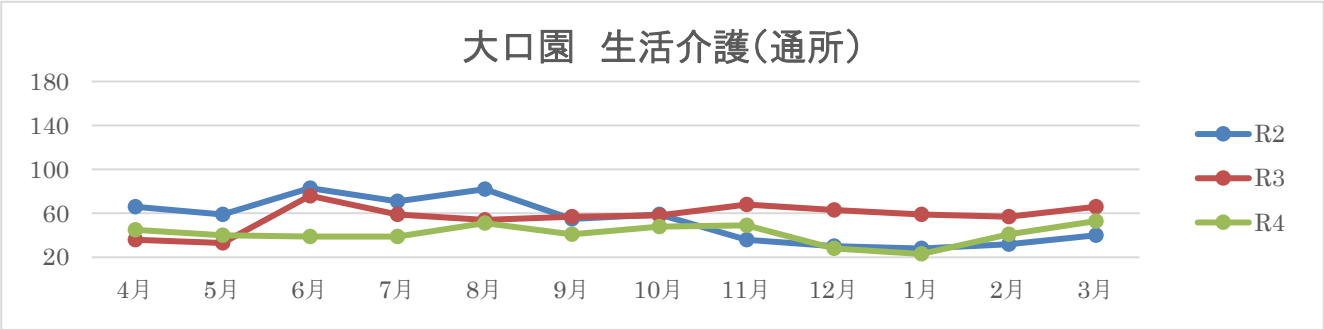
3. 星空の里生活介護（通所）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
R2	138	141	153	111	143	144	154	140	131	128	137	159	1,679
R3	143	134	134	131	106	113	143	143	105	96	102	108	1,458
R4	102	102	104	89	108	102	107	111	93	97	89	98	1,202



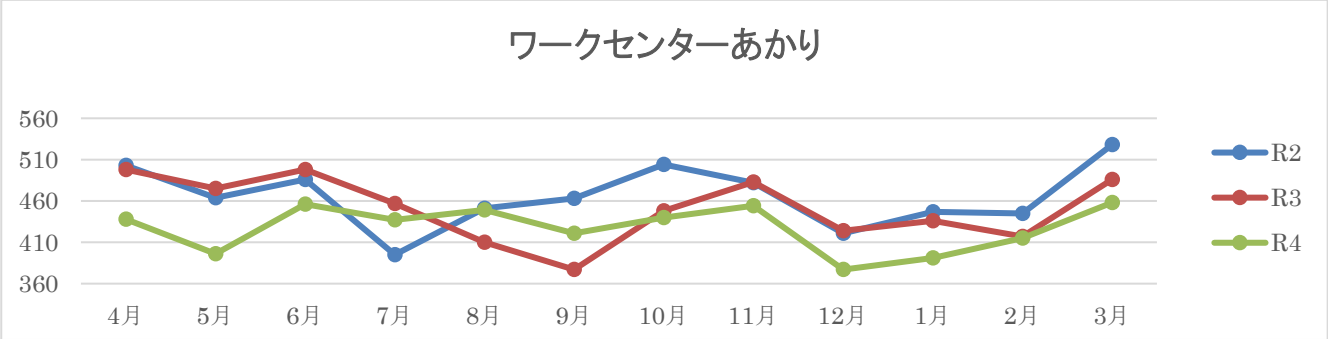
4. 大口園　生活介護（通所）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R2	66	59	83	71	82	55	59	36	30	28	32	40	641
R3	36	33	76	59	54	57	58	68	63	59	57	66	686
R4	45	40	39	39	51	41	48	49	28	23	41	53	490



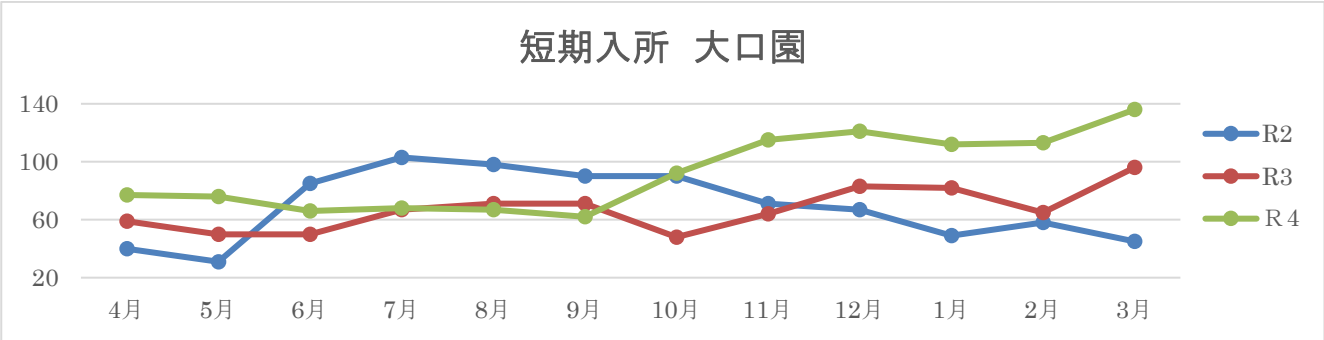
5. ワークセンターあかり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R2	503	464	486	395	451	463	504	482	421	447	445	528	5,589
R3	498	475	498	457	410	377	448	483	424	436	417	486	5,409
R4	438	396	456	437	449	421	440	454	377	391	415	458	5,132



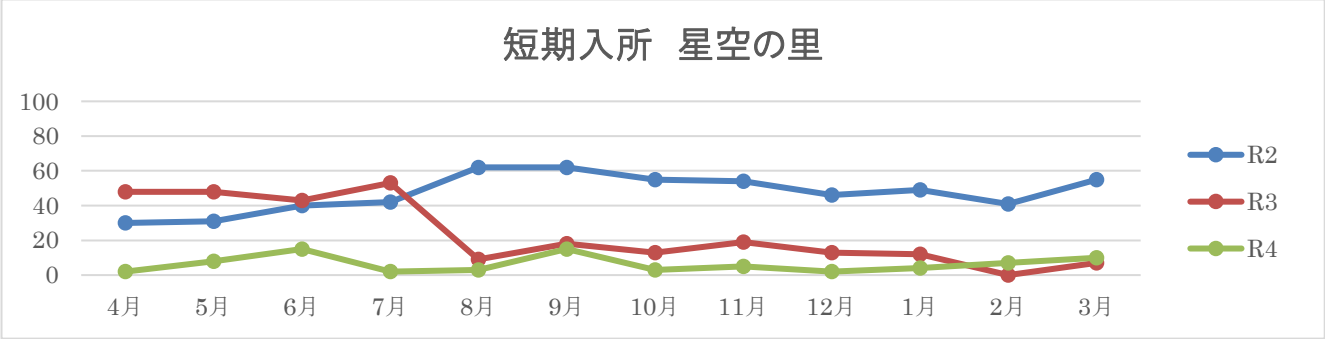
6. 大口園（短期入所）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R2	40	31	85	103	98	90	90	71	67	49	58	45	827
R3	59	50	50	67	71	71	48	64	83	82	65	96	806
R4	77	76	66	68	67	62	92	115	121	112	113	136	1,101



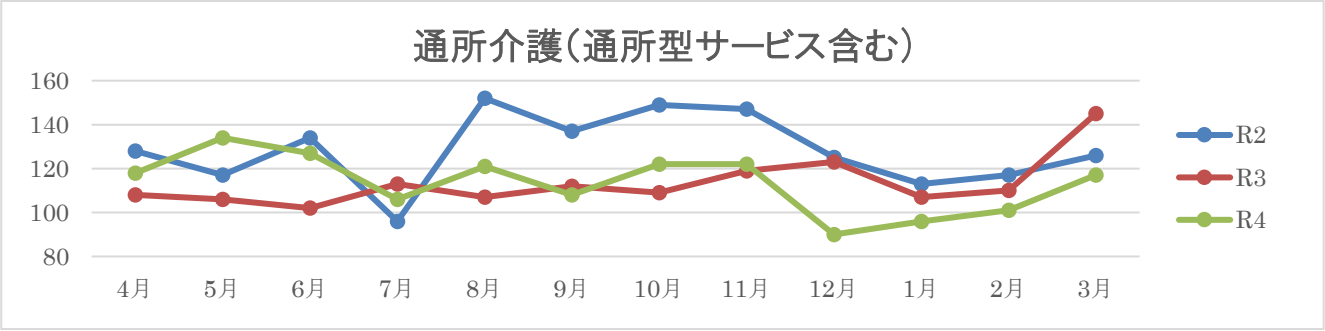
7. 星空の里 （短期入所）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
R2	30	31	40	42	62	62	55	54	46	49	41	55	567
R3	48	48	43	53	9	18	13	19	13	12	0	7	283
R4	2	8	15	2	3	15	3	5	2	4	7	10	76



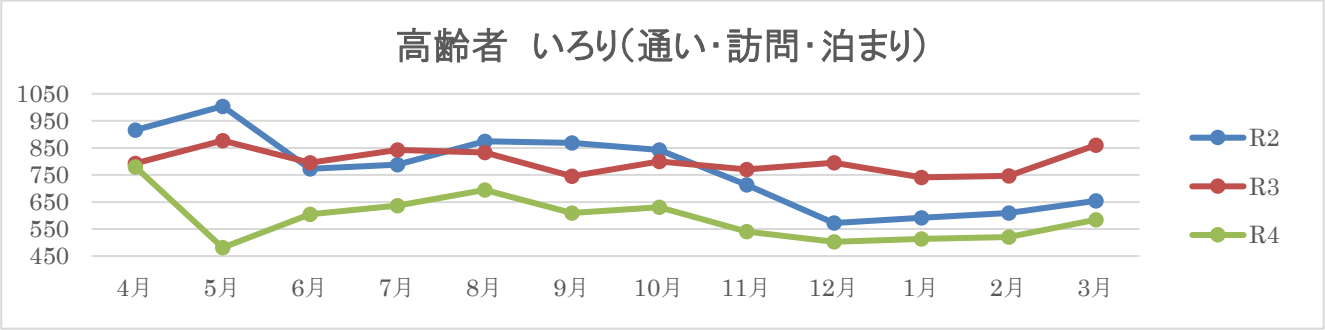
8. 通所介護（通所型サービス含む） 共生型

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
R2	128	117	134	96	152	137	149	147	125	113	117	126	1541
R3	108	106	102	113	107	112	109	119	123	107	110	145	1,361
R4	118	134	127	106	121	108	122	122	90	96	101	117	1,362



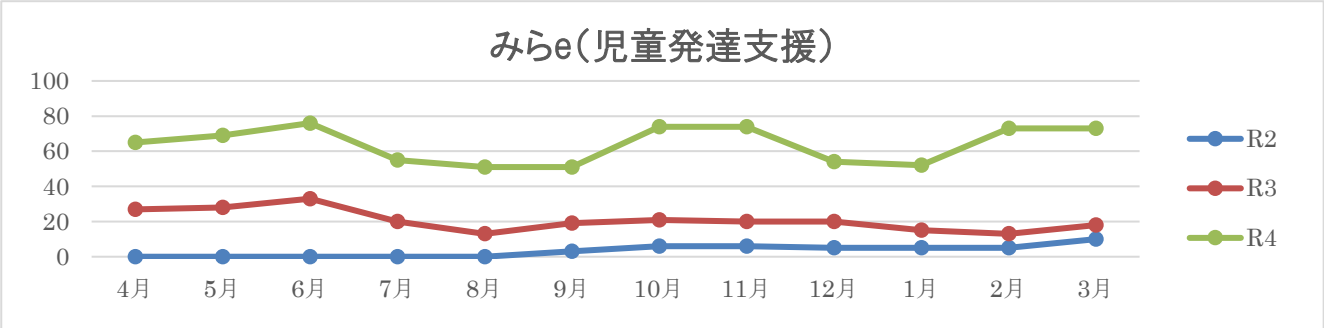
9. 高齢者　いろり（通い・訪問・泊まり）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
R2	916	1004	773	788	874	868	842	713	572	592	609	654	9205
R3	793	877	795	842	833	745	800	770	795	741	746	860	9,597
R4	780	481	604	636	695	609	631	541	503	513	521	584	7,098



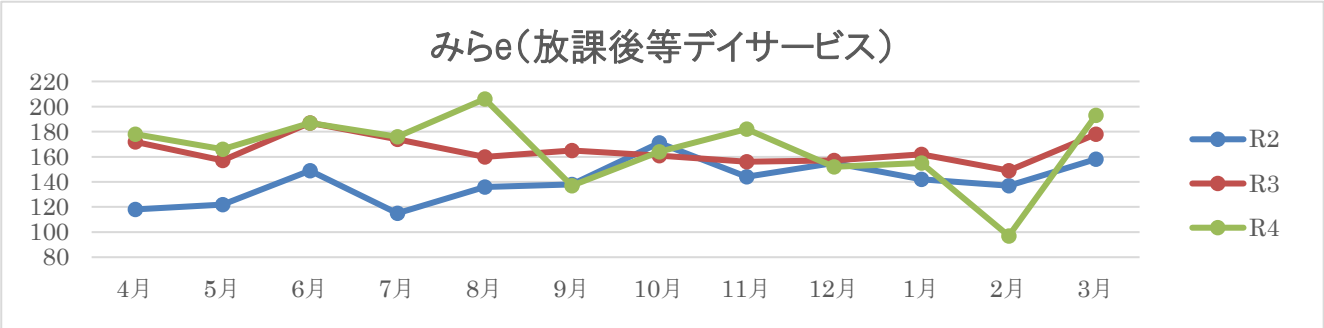
10. キッズステーションみらｅ（児童発達支援）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R2	0	0	0	0	0	3	6	6	5	5	5	10	40
R3	27	28	33	20	13	19	21	20	20	15	13	18	247
R4	65	69	76	55	51	51	74	74	54	52	73	73	769



11. キッズステーションみらｅ（放課後等デイサービス）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R2	118	122	149	115	136	138	171	144	155	142	137	158	1685
R3	172	157	187	174	160	165	161	156	157	162	149	178	1,978
R4	178	166	187	176	206	137	164	182	152	155	97	193	1,993



9. 相談・苦情の状況報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本部事務局	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的施設課	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3
就労支援課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体施設課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者福祉課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※料金に関すること：　0 件　　※服薬に関すること：　1件
※ケア内容に関すること：　2件　　※環境面に関すること：　0 件
※個人情報に関すること：　0 件　　※利用者の私物預かりの管理について：　0 件
全ての案件の状況及び経過報告，再発防止対策について，第三者委員会に報告しました。